

統計アラカルト

熊本の統計情報 令和元年7月23日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

30年間で、行動はどう変わった？(スポーツ編 その3 都道府県比較)

今回は「社会生活基本調査」を使って、昭和の終わりごろと平成の終わりごろとで、どんなスポーツをする人が多いのか、地域的な分布を見てみたいと思います。この調査は5年おきの調査のため、比較可能なのは、昭和61年(1986年)と平成28年(2016年)になります。全て15歳以上です。

さて、今回は「全国」と熊本県を見ましたが、「全国」といった場合には15歳以上の全人口を分母とした行動者率になります。

今回は都道府県ごとの特性がみえるように、各都道府県では何が1位だったかを軸に比較してみます。

1. 行動者率のスポーツ別全国順位と、行動者率1位の都道府県数の順位は、男性では一致しない

まず、全国でみた場合に、S61年の行動者率が一番高かったのは水泳でした。以下右表のとおり野球、ボウリングと続きます。

ところが、都道府県別でみたとき、全国1位の水泳が1位になったのは6都府県しかありませんでした。

1位になった都道府県数ではソフトボールが最多の19県で、熊本県もこの19県に含まれています。以下、野球、つりの順に続いており、水泳は4位でした。

H28年では、全国で行動者率が一番高かったのは器具を使ったトレーニングでした。

しかし、1位になった都道府県数ではつりが最多で17県でした。熊本県もこの17県に含まれています。次いで器具を使ったトレーニングが16道府県で2位でした。

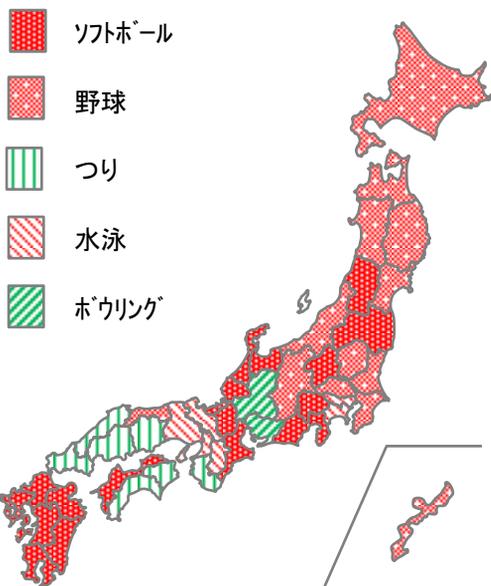
行動者率のスポーツ別全国順位と、そのスポーツが1位となった都道府県数(男性)

全国順位	S61			H28		
	スポーツ	率(%)	1位の都道府県数	スポーツ	率(%)	1位の都道府県数
1位	水泳	31.5	6都府県	器具を使ったトレーニング	16.6	16道府県
2位	野球	31.1	13道県	ジョギング・マラソン	15.2	2都県
3位	ボウリング	29.6	2県	ボウリング	14.2	5府県
4位	ソフトボール	27.3	19県	ゴルフ	14.1	7県
5位	つり	24.7	7県	つり	13.2	17県

S61 都道府県別、1位となったスポーツ(男性)

S61年では、ソフトボールか野球が1位となった道県が全国に分布しています。

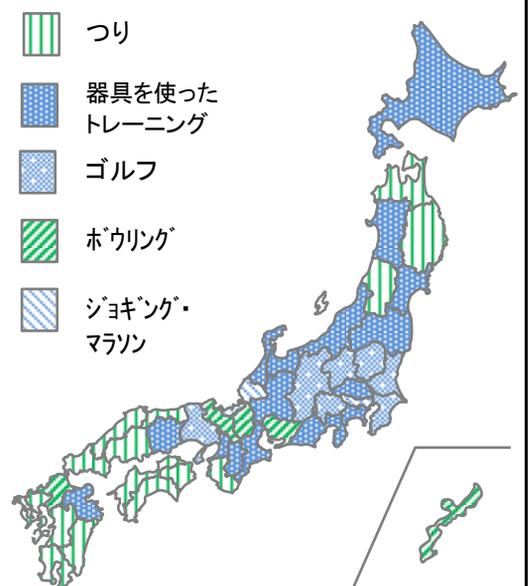
また、中国四国地方ではつりが人気となっています。



H28 都道府県別、1位となったスポーツ(男性)

H28年ではつり人気が広がったほか、器具を使ったトレーニングが広く分布しています。

また、愛知県は、S61年もH28年も「ボウリング」が1位です。



2. 行動者率のスポーツ別全国順位と、行動者率1位の都道府県数の順位は、女性では一致する。

行動者率のスポーツ別全国順位と、そのスポーツが1位となった都道府県数（女性）

まず、全国でみた場合に、S61年の行動者率が一番高かったのは水泳でした。以下右表のとおりボウリング、登山・ハイキングと続きます。

都道府県別でみたときも、全国1位の水泳が24都府県で1位になっています。次いでボウリングが13道府県で2位、バレーボールが10県で3位でした。

面白いことに、全国3位だった登山・ハイキングが1位になった都道府県は一つもありませんでした。

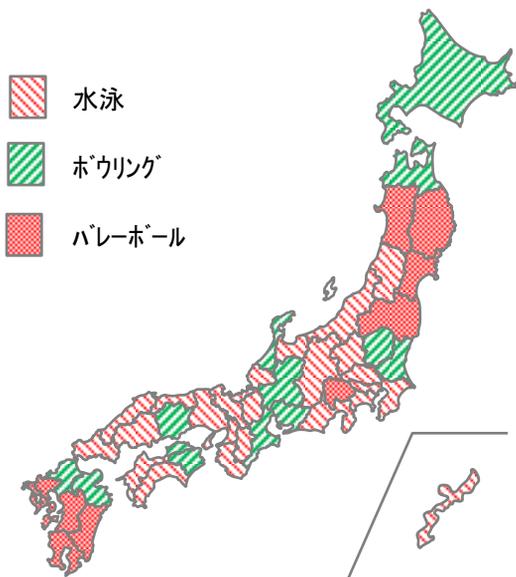
H28年では、全国で行動者率が一番高かったのは器具を使ったトレーニングでした。1位になった都道府県数でも器具を使ったトレーニングが最多で44道府県でした。熊本県もこの44道府県に含まれています。

全国順位	S61			H28		
	スポーツ	率(%)	1位の都道府県数	スポーツ	率(%)	1位の都道府県数
1位	水泳	21.0	24都府県	器具を使ったトレーニング	13.3	44道府県
2位	ボウリング	18.8	13道府県	ボウリング	9.7	2県
3位	登山・ハイキング	13.6	0	登山・ハイキング	9.3	1都
4位	バレーボール	12.7	10県	水泳	8.7	0
5位	バドミントン	12.4	0	ジョギング・マラソン	7.4	0

S61 都道府県別、1位となったスポーツ(女性)

S61年では、水泳が1位となった都道府県が最多でしたが、九州には1県もありませんでした。

バレーボールは東北と九州にだけ見られます。



H28 都道府県別、1位となったスポーツ(女性)

H28年では、器具を使ったトレーニングが圧倒的に広く分布しています。1位でなかった3都府県でも、2位になっています。



3. 30年前も今も男性の好みは分散、女性の好みは集中。

S61年もH28年も、男性については1位となったスポーツが5つに分散していて、過半数の都道府県で1位となったものではありませんでした。

一方女性は、どちらの年も3つでした。どちらの年も過半数の都道府県で1位となったものがあり、特に、H28年にはほとんどの道府県で器具を使ったトレーニングが1位となっています。

これが、嗜好の違いによるものなのか、費用や時間の制約等によるものなのか分かりませんが、興味深い結果となっています。

今回の話は、やや分かりにくかったかもしれませんが、「全国」というのは必ずしも地域の平均ではなく、違う見方もできる場合がある、ということをお示ししたつもりです。

社会生活基本調査では、スポーツ以外にも調査項目がありますので、いろいろ調べてみてください。

熊本県の統計情報は

「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」をご覧ください。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp